中央会年始会

生産性向上を支援

県中小企業団体中央会（小正芳史会長）の年始会が7日、鹿児島市の鹿児島サンロイヤルホテルであった。会員をはじめ、政官界関係者など約200人が出席。小正会長は「ものづくり補助金を活用して、生産性の向上を支援していきたい」と述べ、互いに新しいことにチャレンジすることを呼び掛けた。

冒頭、出席者全員で「中小企業団体の歌」の斉唱や中央会理念の唱和を行った。また、来賓祝辞では、三反園訓県知事が「中小企業発展なくして鹿児島の未来はない。歴史や文化など地域のポテンシャルを生かし、官民一体となって子供たちにいいかたちでバトンタッチできれば」と意気込みを述べた。外薗勝蔵県議会議長も「皆さんの声を県の政策に反映するよう全力で取り組む」と言葉を寄せた。

このほか、川内博史衆議、金子万寿夫衆議、尾辻秀久参議らも祝辞を述べるなど、今年1年が飛躍の年になることを祈念した。

小正会長は「昨年11月、特定地域づくり事業推進法が成立した。そこで、特定地域づくり事業協同組合を活用し、人口減少の対策に取り組んでいくので協力をお願いしたい」と話した。

新しいことへのチャレンジを呼び掛けた年始会＝鹿児島市の鹿児島サンロイヤルホテル

建災防指宿分会災防大会

ゼロ災達成へ決意

建設業労働災害防止協会県支部指宿分会（福永昭一分会長）は7日、指宿市民会館で第47回建設業労働災害防止大会を開いた。関係者約250人が出席し、今年1年のゼロ災達成を決意した。

祈願祭では安全の誓いを読み上げ、関係者が神前に玉ぐしを捧げて安全を祈念した。

大会では、福永分会長（福尚）が「厳しい経営環境下であるが、働き方改革を進めながら社員や若者が希望を持てる建設産業を目指していかねばならない」と挨拶。その上で「安全パトロールの強化等により、昨年も重大災害ゼロを達成した。危険な作業を認識し、互いに思いやり、ワンチームで安全管理作業にまい進しよう」と呼び掛けた。

各種表彰や来賓祝辞のあと、永吉伸一郎労務委員（永吉建設）が「三大災害の絶滅、安全衛生教育の推進、安全施工サイクル運動の三本柱の下、事業所および現場を挙げて強力な労働災害防止運動を推進する」と大会宣言した。

また、赤木章寛鹿児島労働基準監督署安全専門官、玉泉英雄指宿警察署交通課長の講演もあり、出席者は気持ちを新たに安全意識の向上を図った。

分会長表彰は次の通り。

事業場賞＝前村建設▽個人表彰＝古川辰幸（福尚）安楽勉（川路建設）谷畑隆志（西園組）（県支部長表彰は2019年11月30日2面に既報）

安全意識の高揚を図った大会＝指宿市民会館

新たな時代へ結束

県電設協会・電気工組災防大会

県電設協会（畠田実会長）と県電気工事業工業組合（寺田実三理事長）は7日、鹿児島市の鹿児島電設会館で災害防止大会を開いた。関係企業等から約40人が参加。「新たな時代にPDCAみんなで築こうゼロ災職場」をスローガンに、安全管理体制の強化を誓い合った。

年頭の挨拶に立った畠田会長（南電工）は「地域の安全・安心を守る業界であり続けるためにも、安全管理体制の確立は不可欠。関係者一体となって労働災害の未然防止に努め、積極的な活動に取り組んでいこう」と呼び掛けた。

各種表彰に続いて行われた安全宣言では、同協会の宇都健三郎安全衛生委員長（宇都電設）が「働く人々の命の大切さは職場や家庭ですべてに優先されるかけがえのないもの。いかなる環境になろうとも、労災防止に一致団結して取り組みます」と力強く述べ、参加者全員でスローガンを唱和した。

大会後は年始会も開催。同組合の安楽勉副理事長（安楽電気）が「今年は干支の始めとなる子（ねずみ）の年。初心に返り、より良い1年にしていこう」と述べた。

同日は大会に先立ち、荒田八幡宮で安全祈願祭も実施。関係各社の繁栄と無事故無災害を祈念した。（受賞者は2019年11月30日2面に既報）

安全祈願祭を終え写真に納まる参加者＝鹿児島市の荒田八幡宮

建災防種子島分会災防大会

一層の体制強化誓う

建設業労働災害防止協会県支部種子島分会（藤田護分会長）の第43回建設業労働災害防止大会が7日、西之表市の種子島建設会館であった。会員や行政関係者ら63人が出席。業界の課題である墜落・転落事故の撲滅を目指し、さらなる管理体制の構築を求めた。

大会では物故者への黙とう後、建災防県支部表彰の伝達式を実施。会場中がその栄誉を喜び盛大にたたえたほか、来賓祝辞では島内3市町の首長らがそれぞれの立場から言葉を寄せた。

藤田分会長（藤田建設興業）は「この機会に一層の管理活動の展開をお願いしたい。建災防が策定した対策実施事項に基づき、三大災害防止の対策強化や確実なリスクアセスメントの実践などに努めてほしい」と呼び掛けた。

大会前には、同市の八坂神社で祈願祭も開催。関係者らが神前に玉ぐしを捧げ、向こう1年の無事故無災害はじめ、会員企業のますますの繁栄を祈願した。（受賞者は2019年11月30日2面に既報）

災害撲滅を目指し、管理活動の展開などを呼び掛けた大会＝西之表市の種子島建設会館

日峰測地安全祈願祭

技を重ね、前進を

日峰測地（室屋祐介社長、南さつま市）は6日、日置市の大汝牟遅神社で2020年安全祈願祭を開いた＝写真＝。社員ら約20人が参加して今年1年の無事故無災害と一層の飛躍を誓った。

神事では、宮司による清め祓いのあと、室屋社長や幹部職員らが神前に玉ぐしを奉てん。参加者全員で向こう1年の社運隆昌と家内安全を祈願した。

室屋社長は「われわれは技術者の集団。1年1年、技を重ねて成長していくことが大切だ。昨年からさらに前進していこう」と抱負を述べた。

鹿工高OB会（ボクシング部）

母校の発展祈念

鹿児島工業高校ボクシング部の第10回OB会（会長・川畑健義マルカワ建設社長）が3日、鹿児島市のパレスイン鹿児島であった＝写真＝。母校のさらなる発展と1年ぶりの再会を喜ぶと同時に、在校生の活躍を祈念した。

川畑会長は「微力ながら母校の発展に協力し、今後も継続支援したい。今年は、昨年以上の成績を期待している」、また初代会長の重田光康さんは「久しぶりの参加。若い人たちが集い、活気あふれるOB会になってほしい」と挨拶した。

同窓会の永里和吉会長（元校長）や満丸浩校長は「オリンピック選手を輩出した伝統と実績のある部活動。今後も結束を強めてほしい」「OB会が後輩たちに伝統と実績をつないでいく日となってほしい」と激励した。

乾杯の音頭のあと、部発足等のエピソードなどを語り会場は和やかな雰囲気に包まれ、親睦を深めた。

採用力向上・人材確保セミナー

21日まで受付け

薩摩川内市雇用創造協

薩摩川内市地域雇用創造協議会（事務局・同市商工政策課）は23、30日、同市の川内文化ホールで採用力向上・人材確保セミナーを開く。参加費無料。市内事業所の経営者や採用担当者などが対象で、23日が約30社、30日は約20社を定員とする。申し込みは21日まで。

同協議会による「地域NEXT雇用創造プロジェクト～ジモトシゴト幸福作戦～」の第1弾。23日は、最近の雇用情勢と充実したハローワークサービスの活用、30日は売り手市場を勝ち抜く！応募が来る効果的な求人募集をテーマに実践的なノウハウをアドバイスする。

問い合わせは、事務局（☎0996・23・5111、内線4323）まで。